

# 全段連 第二次環境自主行動計画（温暖化対策）

## 2015年度実績フォローアップ調査結果

2016年7月20日

全国段ボール工業組合連合会

全国段ボール工業組合連合会は、環境自主行動計画に対する進捗状況を把握するため、本年5月に自主行動計画参加企業に対して2015年度実績の調査を実施しましたので、その結果を報告致します。

### <計画>

- ・目標：2006年度～2008年度の3年間平均に対し、2013年度～2016年度の4年間平均でCO<sub>2</sub>総排出量を20.0%削減する。
- ・自主行動計画参加企業数：37社
- ・全国段ボール生産量に対するカバー率：61.5%（2012年度）

### <実績>

		基準年度	計 画	実 績			
		2006～2008 年度平均	2013～2016 年度平均 (基準年度比)	2013年度 (基準年度比)	2014年度 (基準年度比)	2015年度 (基準年度比)	2013～2015 年度平均 (基準年度比)
貼合生産量 (37社)	百万m <sup>3</sup> /年	8,441	8,230 (97.5%)	8,615 (102.1%)	8,469 (100.3%)	8,644 (102.4%)	8,576 (101.6%)
CO <sub>2</sub> 総排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	527,655	422,124 (80.0%)	450,856 (85.4%)	435,697 (82.6%)	437,414 (82.9%)	441,322 (83.6%)
CO <sub>2</sub> 削減量 <sup>※1</sup>	t-CO <sub>2</sub> /年	—	105,531	76,799	91,958	90,241	86,333
CO <sub>2</sub> 削減率	%	—	20.0	14.6	17.4	17.1	16.4
CO <sub>2</sub> 原単位 <sup>※2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	62.51	51.29 (82.1%)	52.33 (83.7%)	51.45 (82.3%)	50.60 (80.9%)	51.46 (82.3%)

2015年4月に改訂された資源エネルギー庁のエネルギー源別標準発熱量と炭素排出係数を使用。また、一部過去の数値訂正があったことから、基準年度、計画、2013～2014年度実績の数値を修正している。

※1：基準年度に対する計画年度毎の削減量。

※2：CO<sub>2</sub>総排出量を貼合生産量で割った値。

【注】基準年度以外のCO<sub>2</sub>排出量算定における電力の炭素排出係数は2010年度の数値を用いた。

### <2015年度実績の調査結果について>

2015年度の参加37社の貼合生産量は、前年度より175百万m<sup>3</sup>（2.1%）増加し、CO<sub>2</sub>総排出量も1,717t（0.4%）増加した。計画（2013～2016年度平均）のCO<sub>2</sub>総排出量基準年度比20%削減に対し、2013～2015年度平均は16.4%の削減で、2016年度末まで更に改善を進める必要がある。

しかし、CO<sub>2</sub>排出原単位では前年度より0.85kg-CO<sub>2</sub>/千m<sup>3</sup>（1.7%）減少した。ボイラーの効率化、照明・空調・コンプレッサー等の省エネ設備の導入、生産効率の向上等によりCO<sub>2</sub>排出原単位の改善が更に進んだ。

以上